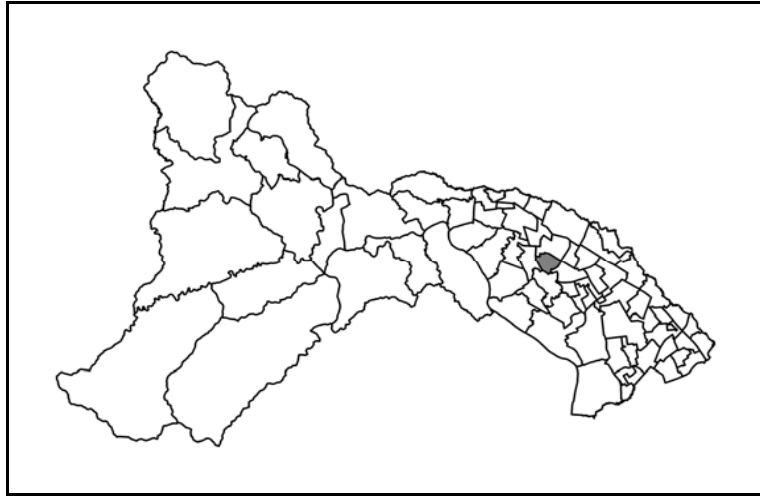


○地区を構成する町丁

【中央区】小町通、横山1丁目・4丁目、横山台

○位置図



○地区自治会連合会名(自治会名)

横山(自治会法人横山1丁目, リノア相模原, 横山4丁目, 横山団地, 横山あじさいハイツ, 横山あじさい団地, 横山南部4丁目, 小町通, 相模原郵政, てるて, 横山台1丁目, 松並, 日金沢丘, 榎, 榎西, 三菱重工上溝社宅, 横山台タウンハイツ)

○地区概況

台地(上段)にあり、南西端は段丘崖である。全体に住宅地が多いが、北部及び西部では工業用地、西部では農地の占める割合も高い。東部に横山団地の集合住宅があり、その南側は広域避難場所の横山公園に接する。

○建物数・人口

建物	区分		建物(棟数)	
	区分	棟数		
建物	木造(昭和55年以前)	449 棟		
	木造(昭和56年以降)	1,088 棟		
	非木造(昭和55年以前)	215 棟		
	非木造(昭和56年以降)	378 棟		
	合計	2,130 棟		
人口	区分		人口(人)	
	区分	人口		
	0~4歳	566 人		
	5~64歳	7,901 人		
	65歳以上	2,084 人		
合計	10,551 人			

○所見

- 横山団地は低層集合住宅で、生活道路は約6mの幅が確保されている。ここから広域避難場所の横山公園に歩道の広い道路が連絡しており、避難路として有効である。
- 富士山の大規模噴火時には2~30cmの降灰が予測されており、その場合、道路・鉄道の通行不能をはじめ、停電や取水停止など重大な被害を受ける。

○防災関連施設

市役所、まちづくりセンター、出張所等の主な公共施設	横山公民館
警察署	横山交番
消防署	
消防団詰所	
病院等	まきの整形外科
主な災害時要援護者施設	ホッとライブ横山台, ワークショップ・SUN, 介護付有料老人ホーム はなことば相模原, 社会福祉法人相模福祉村ケアホームⅡ, 相模原中部療育センター, (仮称) エスケアリビング相模原, 特別養護老人ホーム マナーハウス横山台, すこやか保育園・障害者生活介護事業所のびやか, オカリナ
幼稚園、保育園	すこやか保育園, よこやま幼稚園, 横山台保育園
学校、大学	県立相模原高等学校, 横山小学校, LCA国際小学校
避難所	横山小学校
※洪水時避難所兼用	
洪水時避難所	
広域避難場所	
防災備蓄倉庫	横山小学校
※広域避難場所対応	
臨時ヘリポート	県立相模原高等学校

○地震被害予測結果

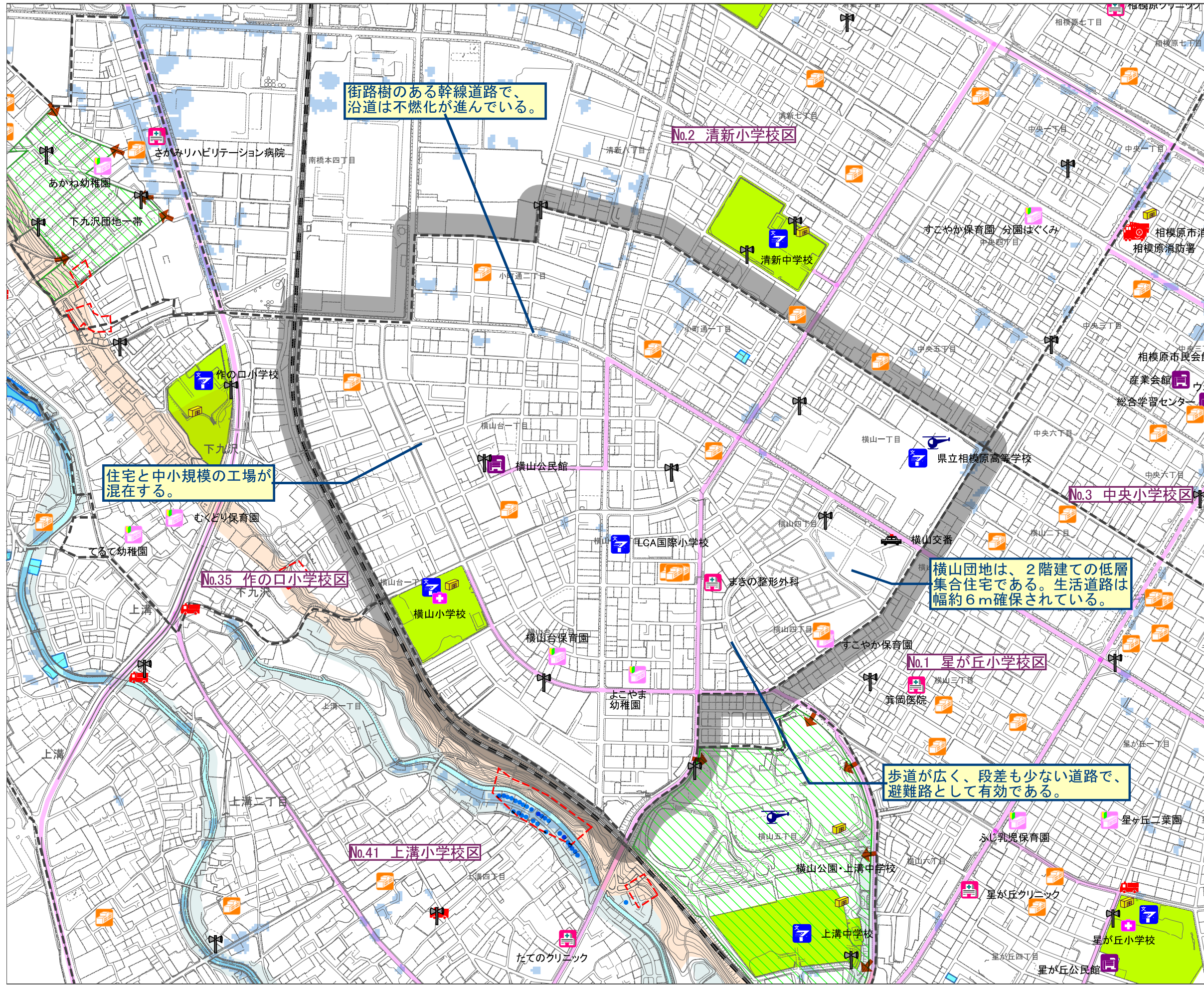
	東部直下地震		西部直下地震		大正関東タイプ地震	
	被害量	比率	被害量	比率	被害量	比率
建物全壊	85 棟	4.0 %	49 棟	2.3 %	9 棟	0.4 %
建物焼失	9 棟	0.4 %	3 棟	0.1 %	0 棟	0.0 %
死者	5 人	0.0 %	3 人	0.0 %	0 人	0.0 %
閉込者	42 人	0.4 %	25 人	0.2 %	5 人	0.1 %
重傷者	8 人	0.1 %	5 人	0.0 %	1 人	0.0 %
軽傷者	52 人	0.5 %	40 人	0.4 %	16 人	0.2 %
避難所避難者(当日)	326 人	3.1 %	209 人	2.0 %	58 人	0.6 %
避難所避難者(1週間後)	982 人	9.3 %	821 人	7.8 %	420 人	4.0 %

○災害危険度評価

危険度評価項目	→危険度が高い
水害	
土砂災害	
地震による地盤災害	
地震による建物被害、火災	

○近年の主な災害履歴

なし



凡例

防災関連施設等

	市役所、まちづくりセンター等
	公民館、主な公共施設等
	警察署、交番、駐在所
	消防署
	消防団詰所
	病院等
	主な災害時要援護者施設
	幼稚園、保育園
	学校、大学
	避難所・洪水時避難所
	広域避難場所
	広域避難場所への車両進入可能箇所
	救護所
	防災備蓄倉庫
	ひばり放送塔
	雨水調整池
	臨時ヘリポート
	災害時協力井戸
	緊急輸送路
	小学校区境界
	地区自治会連合会境界

地形分類

	山地・丘陵地
	低地
	台地
	台地上の浅い谷
	段丘崖
	山麓堆積地形・扇状地
	人工地形

災害履歴

	浸水があったところ
	土砂災害があったところ

災害危険箇所等

	重要水防区域
	浸水想定区域(河川氾濫)
	浸水想定区域(内水)
	浸水被害警戒地域
	土石流危険渓流
	土石流危険区域
	急傾斜地崩壊危険箇所
	地すべり危険箇所

書き込み欄

みなさんが知っている防災の情報を記入しましょう(例: 浸水しやすいところ、防火水槽の位置など)

